

## クラウドファンディング

『【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。』

**プロジェクトが成立いたしました！**



9月9日より、クラウドファンディングサイト「READYFOR?(レディーフォー)」にて、平成26年度の図書館事業運営資金と「芝居番付」五千枚のデジタル化資金を募集しておりましたプロジェクト、「【第3弾】日本文化の宝・歌舞伎や映画の記憶を未来につなぐ。」が、50日間のスポンサー募集期間を経て10月29日23時に終了いたしました。

おかげ様で、READYFOR?のサイト上に反映されている支援者の皆様の人数と、代理で申込みいただいた方の人数を合わせまして、**263名**の方より、2,800,000円の目標額を上回る**2,965,000円**のご支援をいただき、プロジェクトが成立いたしました。本当にどうもありがとうございました。

今回は、日程の半分である25日目過ぎた時点でも、まだ達成率は29%と、かなり厳しい状況でしたが、皆様から寄せられる温かなご支援やコメントに励まされ、あきらめずに目標に向かって頑張り続けることができました。

前回・前々回に引き続きご支援下さった方々、今回初めてご支援下さった方々、SNSや様々なメディアで広めて下さった方々、チラシを配布して下さった方々、そして今回の当館の活動を支えて下さいました関係者各位に、心から御礼申し上げます。

これからも、さらに充実した専門図書館を目指しスタッフ一同、頑張っまいります。

プロジェクトの詳細は、下記のURL または QR コードよりご覧ください  
<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan3>



■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『宇宙戦艦ヤマト2199 追憶の航海』	○		○		
『THE NEXT GENERATION パトレイバー 第5章』	○	○	○		
『光の音色 THE BACK HORN Film』	○				
『エクスペンダブルズ3』	○	○	○		

■ 映画プログラム ■

『ザ・テノール 真実の物語』 『イフ・アイ・ステイ 愛が還る場所』 『小野寺の弟・小野寺の姉』  
 『トワイライト ささらさや』 『ガーディアンズ・オブ・ギャラクシー』 『悪童日記』  
 『ミリオンダラー・アーム』 『弱虫ペダル Re:RIDE』 『蝸ノ記』  
 『近キヨリ恋愛』 『誰よりも狙われた男』 『舞妓はレディ』  
 『ゴッドタン キス我慢選手権 THE MOVIE2 サイキック・ラブ』 『ヘラクレス』  
 『荒野はつらいよ アリゾナより愛をこめて』 『猿の惑星：新世紀（ライジング）』  
 『攻殻機動隊ARISE border:4 Ghost Stands Alone』  
 『グレース・オブ・モナコ 公妃の切り札』

■ 松竹系 10月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新版歌祭文 野崎村』	○			
	『近江のお兼』				
	『三社祭』				
	『伊勢音頭恋寝刃』	○		○	○
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○			
	『道行初音旅 吉野山』				
	『鯛賣戀曳網』	○			
	演劇人祭 特別編	○		○	
新橋演舞場	第27回東京国際映画祭歌舞伎座スペシャルナイト				
	『平家女護島 俊寛』	○	○		
	『金幣猿島郡』	○	○	○	○
南座（京都）	『獨道中五十三驛』	○			
	『疑惑』	○		○	○
	『GOEMON 石川五右衛門』	○		○	○
日本特殊陶業市民会館（名古屋）	『菅原伝授手習鑑 車引』	○			
	『棒しばり』	○			
	『人情噺文七元結』	○		○	○
	『本朝廿四孝 十種香』	○			
	『身替座禅』	○			
地方巡業	『伊勢音頭恋寝刃』	○			
	『都風流』				
	『芸談』			○	
	『月の巻』				
地方巡業	『紀州道成寺』				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

(新着資料案内 続き)

■ 他社演劇公演資料 ■

赤坂ACTシアター	9月	『ファントム』プログラム
青山円形劇場	10月	バンダ・ラ・コンチャン『御ゑん祭』プログラム 青山円形劇場『生きてるものはいないのか』プログラム
浅草公会堂	10月	『スタス・レビュー・ファンタジー2014』プログラム
上野ストアハウス	10月	江戸糸あやつり人形座『人間人形世代』プログラム 温泉ドラゴン『birth final』プログラム
NHKホール	10月	『第41回NHK古典芸能鑑賞会』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	9月	トム・プロジェクト『淑女のロマンス』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	10月	『コラボレーション』プログラム、台本 文学座『天鼓』プログラム、台本
国立劇場小劇場	8月	『第十六回音の会』プログラム 『第廿回稚魚の会歌舞伎会合同公演』プログラム 『花形・名作舞踊鑑賞会』プログラム
	9月	『文楽公演』プログラム、床本 文楽『不破留寿之太夫』プログラム
国立劇場大劇場	9月	『知恩院の声明』プログラム 『東北の芸能V』プログラム
	10月	『伝統芸能の交流』プログラム
	10月	歌舞伎公演『双蝶々曲輪日記』プログラム 『第十六回伝統歌舞伎保存会研修発表会』プログラム
座・高円寺2	10月	江戸糸あやつり人形結城座『オールドレフレイン』プログラム
ザ・スズナリ	9月	流山児★事務所『どんぶりの底』プログラム、台本
シアターグリーンBIG TREE THEATER	10月	メント『ダム』プログラム
シアターコクーン	9月	『火のようにさみしい姉がいて』プログラム
シアタークリエ	10月	『道化の瞳』プログラム
下北沢OFF・OFFシアター	10月	ソチプロ『カップで自分を量るがいい』プログラム
シアタートラム	9月	『炎 アンサンディ』プログラム
ステージ円	9月	演劇集団円『初菫ノ花』プログラム
	10月	『朽ちるまにまに』プログラム
東演パラータ	9月	劇団東演『絢爛とか爛漫とか』台本
東京芸術劇場シアターイースト	10月	『ポリグラフ 嘘発見器』プログラム
東京国際フォーラム	9月	東宝芸能50thコンサート『Espoir 希望をもって』プログラム
俳優座劇場	9月	俳優座劇場プロデュース『インポッシブル・マリッジ』プログラム、台本
博品館劇場	9月	『こむら返りと四十肩』プログラム 『タップダンスフェスティバル2014』プログラム
パルコ劇場	9月	『イット・ランズ・イン・ザ・ファミリー』プログラム
明治座	9月	『北島三郎最終公演』プログラム
	10月	『天童よしみ特別公演』プログラム
横浜にぎわい座	10月	『三国三様日中韓の伝統人形劇』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』2014年10月号	『テアトロ』2014年11月号
『演劇界』2014年12月号, 特別付録「十八代目 中村勘三郎 芸の軌跡 出演年表」	『伝統文化新聞』2014年101号
『大向う』平成26年11月号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年10月号
『神奈川芸術プレス』2014年10月-11月	『日本劇作家協会会報 ト書き』No.53
『Confetti』2014年NOVEMBER	『日本照明家協会誌』2014年10月号
『Confettiかわら本』2014年11月号	『日本舞踊』66巻11月号
『国立演芸場公演ガイド』平成26年11月号	『悲劇喜劇』2014年11月号
『シアターガイド』2014年12月号	『ほうおう』2014年12月号
『ジ・アトレ』2014年10月	『邦楽の友』平成26年11月号
『JPL』No.55	『ラ・アルプ』2014年11月号

(新着資料案内 続き)

## ■ 映画雑誌 ■

『映画芸術』2014年秋号(449号)  
『映画テレビ技術』2014年11月号  
『映画秘宝』2014年12月号  
『エキブ・ド・シネマ』2014年No.201  
『NFCカレンダー』2014年9月号,10月号,11月号  
『NFCニューズレター』2014年10月-11月号  
『キネマ旬報』2014年10月上旬号,11月下旬号  
『シナリオ』2014年12月号  
『シナリオ教室』2014年11月号  
『SCREEN』2014年12月号  
『ドラマ』2014年11月号  
『日経エンタテインメント!』2014年11月号  
『ピクトアップ』2014年12月号  
『FLIX』2014年12月号  
『文化の泉 シネマアベニュー』Vol.7,8

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2014年8月~2014年9月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、小津安二郎生誕110年記念事業実行委員会、劇団俳優座、キネマ旬報社、文学座、東京大学出版会、演劇出版社、一般社団法人日本民間放送連盟、児童・青少年演劇ジャーナル「げき」編集委員会、関西・歌舞伎を愛する会、劇団四季、株式会社日本舞踊社、国立劇場、日本劇団協議会、小山観翁、日本アカデミー賞協会、ディアゴスティーニ・ジャパン、劇団朋友、劇団昴、佐藤知乃、時代考証学会、田中久子、岡部企画、シアタークリエ、公益社団法人日本照明家協会、株式会社カモミール社テアトロ編集部、博多座、伝統文化新聞、ロングランプランニング株式会社、小平麻衣子、(株)近代映画社、劇団民藝、日本映画撮影監督協会、神奈川県演劇連盟、北区AKT ASAGE、新潟・市民映画館鑑賞会、銀座百店会、劇団東京乾電池、安孫子正、邦楽の友社、フィルムセンター、シナリオ・センター、岩波ホール、公益財団法人 劇場演出空間技術協会、日本芸能実演家団体協議会 実演家著作隣接権センター、おもだか会、東宝株式会社、竹内雅子、加藤健一事務所、河出書房新社、明治座、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、佐護妙子、銀座 博品館劇場、若林さだ吉、(株)クオーレ、神戸女子大学古典芸能研究センター、日本映画テレビ技術協会、人形劇団プーク、前進座、森崎事務所、劇団青年座、歌舞伎学会、日本映画テレビプロデューサー協会、日本ウニマ(国際人形劇連盟)、帝国劇場、パルコ劇場、伊東三ち代、大田区立郷土博物館、こまつ座、新歌舞伎座、粹者、社団法人日本演劇協会、新国立劇場情報センター、(有)三月書房、七ツ寺演劇情報センター、(公社)土木学会附属土木図書館、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、オペラシアターこんにゃく座、秋田雨雀・土方与志記念 青年劇場、俳優座劇場、元森仙、劇団東演

どうもありがとうございました

## ≫≫ お知らせ

### 雑誌『演劇界』2014年12月号特別付録

### 「十八代目中村勘三郎 芸の軌跡 出演年表」の作成に協力しました

現在発売中の『演劇界』2014年12月号で、十八代目中村勘三郎さんの特集が組まれています。特別付録として、勘三郎さんの年表がセットになっていますが、この年表の作成に松竹大谷図書館が協力しました。

所蔵資料や当館の作成している上演記録データベースを基に作成されています。歌舞伎の出演だけでなく、映画出演や受賞歴も掲載されており、勘三郎さんの詳細な芸歴が一冊でわかる内容となっております。是非お手元でお使いいただければ幸いです。

# 「初代松本白鸚」展

展示期間：2014年10/31～11/26  
於 閲覧室



昭和24年9月東京劇場『八代目松本幸四郎襲名披露九月興行大歌舞伎』プログラム

今月の所蔵資料展示は、11月歌舞伎座の吉例顔見世大歌舞伎で行われる「初世松本白鸚三十三回忌追善」に合わせて、初代松本白鸚に関する資料をご紹介します。

初代松本白鸚は、明治43[1910]年7月7日に七代目松本幸四郎の次男として生まれました。兄は十一代目市川團十郎、弟は二代目尾上松緑で「高麗屋三兄弟」として広く知られており、現在活躍されている歌舞伎俳優、九代目松本幸四郎、二代目中村吉右衛門の父にあたります。大正14[1925]年1月帝国劇場にて、五代目松本幸四郎の幼名であった松本純蔵を名乗り、『奴唄』の太鼓持順孝で初舞台を踏みしました。昭和6[1931]年4月明治座上演の『車引』の梅王丸で五代目市川染五郎を襲名し、名題昇進。昭和13[1938]年2月明治座で、父の七代目松本幸四郎が生涯に1600回以上演じた『勸進帳』の弁慶を28歳で初めて演じ、以後当り役となります。昭和24[1949]年1月に、父の七代目松本幸四郎が没した後、9月東京劇場で『勸進帳』の弁慶、『逆櫓』の樋口を勤め、八代目松本幸四郎を襲名しました。昭和36[1961]年、松竹から東宝に移籍。昭和47[1972]年にフリーとなった後、昭和50[1975]年に重要無形文化財人間国宝に認定されます。昭和56[1981]年9月初代松本白鸚を襲名し、同年10・11月歌舞伎座にて、長男の九代目松本幸四郎、孫の七代目市川染五郎とともに「初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露」を行います。三代同時襲名という歴史的な興行でした。翌年1月、惜しまれつつも逝去。享年71歳でした。最後の舞台は昭和56[1981]年11月歌舞伎座『井伊大老』の井伊直弼で、長年に渡り共演した名女形、六代目中村歌右衛門が相手役のお静の方を演じています。

映像作品の出演も多く、昭和28[1953]年に『花の生涯』で映画初出演し、井伊直弼を演じています。昭和44[1969]年には、白鸚をイメージして書いたという原作者池波正太郎の指名を受け、TVシリーズ『鬼平犯科帳』で主役の長谷川平蔵を演じました。平蔵役は、後に次男の二代目中村吉右衛門に引き継がれています。

『勸進帳』弁慶はもとより、『熊谷陣屋』熊谷次郎直実、『御存鈴ヶ森』幡随長兵衛など、大きく重厚な役者であった初代松本白鸚の在りし日の姿が伝わる展示となっております。

## ▼展示資料一覧▼

### 【スチール（歌舞伎）】

『ひらかな盛衰記』昭和24年[1949]9月東京劇場

◆八代目松本幸四郎襲名披露

松右衛門実は樋口次郎兼光（染五郎改め八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）、駒若丸（中村萬之助＝二代目中村吉右衛門）

『勸進帳』昭和24年[1949]9月東京劇場

◆八代目松本幸四郎襲名披露

武蔵坊弁慶（染五郎改め八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『積恋雪関扉』昭和24年[1949]12月東京劇場

関兵衛実は大伴黒主（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『仮名手本忠臣蔵 七段目』

昭和33年[1958]3月新橋演舞場

大星由良之助（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『双蝶々曲輪日記 角力場』昭和35年[1960]1月歌舞伎座

放駒長吉（六代目市川染五郎＝九代目松本幸四郎）、濡髪長五郎（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『一谷嫩軍記』昭和42年[1967]2月歌舞伎座

熊谷次郎直実（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『籠釣瓶花街酔醒』昭和45年[1970]10月歌舞伎座

佐野次郎左衛門（八代目松本幸四郎）、八ツ橋（六代目中村歌右衛門）

『御存鈴ヶ森』昭和56年[1981]5月歌舞伎座

白井権八（七代目尾上梅幸）、幡随院長兵衛（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『井伊大老』昭和56年[1981]11月歌舞伎座

◆初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露  
お静の方（六代目中村歌右衛門）、井伊掃部頭直弼（幸四郎改め初代松本白鸚）

### 【演劇資料一覧】

昭和6年[1931]4月明治座●プログラム

◆五代目市川染五郎襲名披露 「俳優楽屋話」より

昭和24年[1949]9月東京劇場●プログラム

◆八代目松本幸四郎襲名披露

昭和56年[1981]10月歌舞伎座 ◆初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露

●プログラム、スチール『初代松本白鸚 九代目松本幸四郎 七代目市川染五郎襲名披露口上』

金太郎改め七代目市川染五郎、染五郎改め九代目松本幸四郎、幸四郎改め初代松本白鸚

『国盗り物語』昭和48年[1973]9月帝国劇場●プログラム、雑誌『東宝』昭和48年9月号 斎藤道三（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

「幸四郎三国志 菊田一夫との四〇〇〇日」●図書

千谷道雄著 文藝春秋 昭和56年[1981]8月

『初代松本白鸚の世界』●図書

福田元次郎編・発行 北隆館 昭和63年[1988]9月

### 【映画資料一覧】

『花の生涯』昭和28年[1953]松竹 大曾根辰夫監督作品

◆映画初出演作品 ●スチール 井伊直弼（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）、たか女（淡島千景）

『大東京誕生 大江戸の鐘』昭和33年[1958]松竹

大曾根辰保監督作品 ●スチール 小栗上野介（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『太閤記』昭和33年[1958]松竹 大曾根辰保監督作品

●スチール 織田信長（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

『忠臣蔵 花の巻・雪の巻』昭和37年[1962]東宝

稲垣浩監督作品 ●プログラム 大石内蔵助（八代目松本幸四郎＝初代松本白鸚）

## ■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### ● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2014（平成26）年10月にご支援いただきました

#### 法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

#### 個人（敬称略）

佐藤半次郎

どうもありがとうございます

#### ■ お知らせ ■

▼引き続き、当館で使用している図書管理システムを新システムへ移行中につき、資料の新規登録が出来ない状態になっております。そのため今月の資料案内は「新着資料案内」のみとさせていただきます。

#### ■ 編集後記 ■

▼ニューズレターが今号で200号となりました！今から16年前の平成10年の4月にニューズレターを初めて発行しました。当館の活動を知っていただく方法として、月に一度発信し始めました。当初は当館の関係機関へのみ紙面でお配りしていましたが、時を経て、今では当館のHPにも掲載しています（※平成23年1月No.154より）。内容も、資料の新着や通常業務のお知らせが中心の紙面でしたが、パソコンでの作成に切り替わった平成13年頃より、スタッフの他の図書館への見学会のレポートや、専門図書館協議会の研修報告の記事なども掲載し始めました。最初のシンブルな構成の創刊号を手にしますと、図書館の今までの歩みや歴史をひしひしと感じます。これから皆様にも、当館のことをより知っていただけるよう、工夫をしてみたいと思います。

▼巻頭でお知らせした通り、クラウドファンディングのプロジェクトが無事目標金額を達成しました！ご支援ご協力、本当にありがとうございます。前回・前々回のプロジェクト達成の瞬間はどちらも夜だったので、スタッフ全員でその瞬間には立ち会えなかったのですが、今回は夕刻だったため、まさに目標金額を達成したそのとき、スタッフ同士で喜びを分かち合うことができました！皆で万歳三唱をさせていただきました。この喜びを胸に、これからも皆でがんばっていきます！



- 利用案内 ●
- 開館時間 ●
- 平日午前10時～午後5時
- 休館日 ●
- 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
- ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
- 入館料 ●
- 館内閲覧のみ 無料
- 交通案内 ●
- 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分